



あゆみ

青梅市立河辺小学校
令和5年度11月号
青梅市立河辺小学校

学校便り No. 669
令和5年11月1日
校長 関谷 望

「生き方」を学ぶ ～アスリート教室～

校長 関谷 望

河辺小では、スポーツ選手や優れた指導者をお招きしての体験教室を、ここ数年間継続的に実施しています。今年度は2年生以上の各学年で「アスリート教室」として以下のようの方々に来校していただいています。(予定も含む)

10/20 (金) 6年生 田中 佑典選手 (体操男子団体 2016 リオ五輪金メダリスト)

10/26 (木) 4年生 桑原 俊先生 (2007NHK杯優勝、プロ体操コーチ)

10/31 (火) 2・3年生 生山ヒジキ先生 (プロなわとびプレーヤー)

11/28 (火) 5年生 永尾 嘉章先生 (車いす陸上 パラリンピック7大会連続出場)

10/20 (金) に6年生を対象に実施したアスリート教室の様子をご紹介します。

男子体操団体の2012 ロンドン五輪銀メダル、2016 リオ五輪金メダルと2大会連続でメダルを獲得した田中 佑典選手 (現在も現役選手です) が、兄の田中和仁先生 (体操男子2012 ロンドン五輪銀メダリスト) と一緒に来校してくださいました。(姉の田中理恵さんと「3きょうだい」で、同時に五輪出場を果たしたことで有名です。)

田中佑典選手は最初に「夢を叶えるために」というお話をしてくださいました。夢を叶えるためには、自分に「見たり聞いたりする力」「認めあう力」「続ける力」「チャレンジする力」などの「力」を一つ一つ集めること、そして「自分自身を信じること」「一つ一つの『階段』を飛ばさずにのぼること」の大切さを教えてくださいました。

次に模範演技として、基本の前転や倒立から高度な連続技までを、目の前の至近距離で披露してくださいました。その美しさと技のキレの素晴らしさは、「さすが金メダリスト」「さすが現役選手」のもので、6年生も教職員も魅了されました。

そして、田中和仁先生と一緒に、基本の前転、後転、さらに側方倒立回転 (側転) を指導してくださいました。お二人のメダリストからの指導というとても贅沢な時間となりました。ポイントを押さえた指導・助言で、みるみる上達していく子が多くいました。

体験教室の最後には、オリンピックの金メダルや銀メダルに触れさせていただいて、本当に貴重な経験となりました。

10/26 (木) の4年生、10/31 (火) の2年生・3年生のアスリート教室も、それぞれ素晴らしい体験となりました。これらの取組は、都や市、その他の団体などの事業を積極的に活用することで実施できており、大変ありがたく思っています。

心と体は互いに関連しています。学習指導要領にも「生涯にわたり運動に親しむ資質や能力を育むこと」の重要性が書かれています。

「予測不能」と言われる今後の社会を心身共に健康に生き抜いていくためには、健康維持やストレスの解消、仲間づくり等々、運動やスポーツの果たす役割は、より大きくなっていくと思います。

「アスリート教室」は、実際に活動することを通してスポーツや運動への関心や意欲を高めることを目的としていますが、それと同時に、目標に向かって努力を続ける姿勢をもっている方々との交流によって「生き方」を体感的に学ぶことをねらいとして実施しています。一つの道を極めた方々との交流を通して、よりよい自分を目指して生きようという心情を高める機会となれることを期待しています。